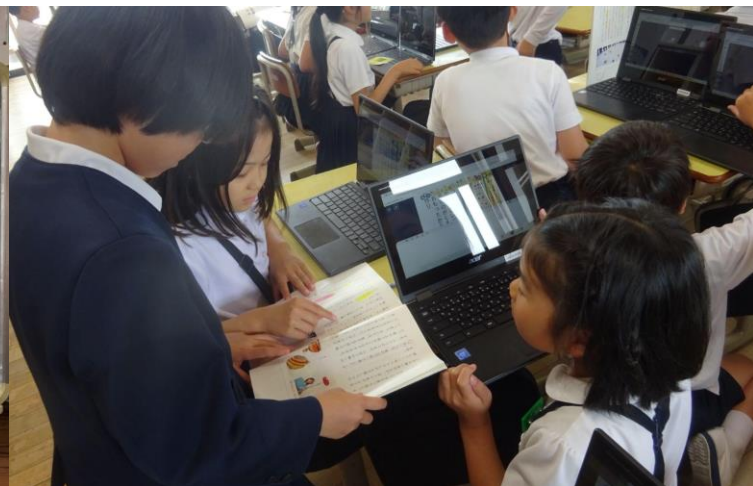


# 主体的に学び合う児童の育成

—ICTを効果的に活用した個別最適な学び・協働的な学びの充実を目指して—

## 第3学年 国語科

まとまりをとらえて読み、かんそうを話そう  
「こまを楽しむ」



## ポイント 1

とらえる  
問いをもつ



## 目ひょう



# ゴール



遊んでみたい  
こまについて  
話そう。

「証拠はどこ!?」  
説明文探偵になって、  
キーワードやキーセン  
テンスを見付けよう!

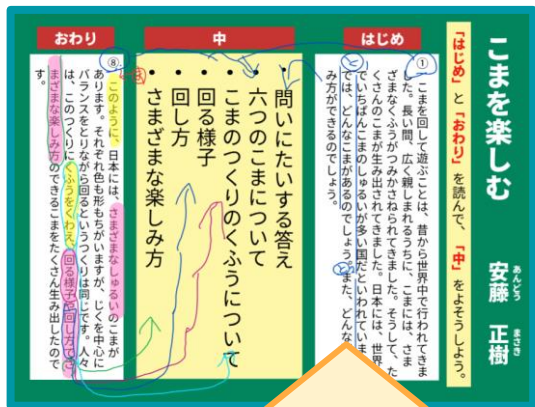
せつ明文たんていになって、  
筆者の考えやせつ明文の工ふう  
を読みとこう。

（キーワードやキーセンテンスを基に、筆者の伝えたいことや文章の構成の工夫を捉える。）

子ども  
たちの

「やってみたい！」という思いから単元のゴールや学習過程を

「はじめ」と「おわり」から  
「中」を予想して「まとまり」  
を捉えたり、考えてみたい  
「問い」を共有したりする。



## 対話や気付きの質を高める工夫



## 探究



「こまランキング」を  
共有し、自由交流する。  
考えを比べながら伝え合  
い、学びを深める。

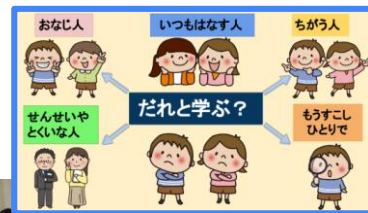


広げる



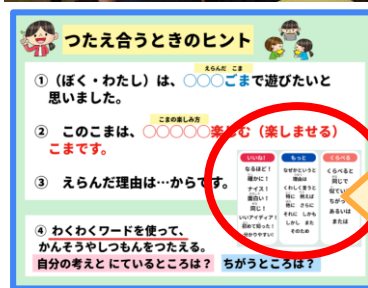
深める

## 学び方を工夫する 「学び方カード」



## 対話を深める ヒントカード

## 対話のレベル アップを！





## 次の学びに生かす振り返り

なげずぐりをさい後に  
せつ明したのだらう。

六つのこまをしようかいする  
じゅん番について筆者の考えは？

三竹ごまうキング

## 筆者の意図を 探りたい！

## 次の学びへ

回る様子を楽しむこまと回し方を楽しむこまを分けて、ようかいした方がわかりやすいから、このじゅんにしている。みんなが知っていてわかりやすいじゅんにしている。

すぐりは、雪の上で回すから、ほかのこまよりくべつなかんじがする。ほかのこまとくらべたことも書いていたからさいごがいい。だから、すぐりはさいごにしようかいしている。

なせ、すくりにをさし後に  
せつ明したのだろう。

六つのこまをしようかいる  
じゅん番について**筆者の考え**は？

## 「ルーブリック」と「わくわくワード」

言葉を豊かに

学びを  
生かして  
深める



## 【せつ明文たんていになろう】

学んだことや気づきを  
次の学びや実生活に生かす。